

平成20年度第2回函館市戸井支所地域審議会議事録（要点）

1 日 時 平成20年10月29日（水）14時00分～15時51分

2 場 所 函館市戸井支所 第3会議室

3 出席者

尾関 忠義 委員	宇美健次郎 委員	濱島 史子 委員
宇美 兼松 委員	館山 澄子 委員	木村 信 委員
成田 博満 委員	植野 範子 委員	山路 榮 委員
尾本 美恵 委員	佐々木竜矢 委員	

事務局

戸井支所長 伊藤 修	
戸井支所地域振興課長 佐藤 博史	主査 工藤 泰之
戸井支所地域振興課主査 井戸 浩嗣	主任 小川 貴宏
戸井支所住民サービス課長 林 秋男	
戸井支所保健福祉課長 五十嵐 陽子	
戸井支所産業課長 山下 勝	主査 的場 哲哉
戸井支所産業課主査 吉田 孝道	
戸井支所建設課長 岩船 秋男	
戸井教育事務所長 八木 多佳夫	
企画部計画推進室長 佐藤 洋一	
企画部計画推進室地域振興課主事 小玉 亮	
市民部市民課長 山本 幸仁	

4 その他 傍聴者 なし ・ 報道機関 北海道新聞

<p>5 議 事</p>	
<p>佐藤課長</p>	<p>本日は、ご多用のところ、ご出席をいただき、誠にありがとうございます ございます。</p> <p>定刻になりましたので、ただいまから平成20年度第2回函館市 戸井地域審議会を開催いたします。</p> <p>本日の会議は、地域審議会の設置に関する規程第8条第5項の定 めにより、公開としております。</p> <p>また、傍聴人数におきましては、会場の都合もあり、20名とし ておりますので、この点もご了解願います。</p>
<p>佐藤課長</p>	<p>それでは会議開催にあたり、尾関会長からご挨拶申し上げます。</p>
<p>尾関会長</p>	<p><挨拶要点></p>
<p>尾関会長</p>	<p>本日は平成20年度第2回函館市戸井地域審議会の開催にあたり、 皆様におかれましては、コンブ漁も一段落いたしました。何かと お忙しい中、お集まりをいただき誠にありがとうございます。</p>
<p>尾関会長</p>	<p>なお、本日の議題は、ご案内のとおり、諸般の報告、平成21年 度地域別事業計画案ならびに地域振興全般に関する意見交換が、主 な内容となりますので皆様の活発なご意見をいただき、進めて参り たいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>尾関会長</p>	<p>以上、簡単ではありますが、開会にあたってのご挨拶とします。</p>
<p>佐藤課長</p>	<p>会長、どうもありがとうございました。</p>
<p>佐藤課長</p>	<p>次に伊藤支所長からご挨拶をいただきます。</p>
<p>佐藤課長</p>	<p><挨拶要点></p>
<p>伊藤支所長</p>	<p>平成20年度第2回戸井地域審議会の開会にあたり、一言、ご挨拶 申し上げます。</p>
<p>伊藤支所長</p>	<p>平成16年12月の市町村合併により、設置されました地域審議 会でございますが、本年11月をもって丸4年が経過し、委員の皆 様には、2年間の任期満了を迎えるわけですが、この間、地 域振興について真摯な議論をいただきましたことに対し、改めて感 謝申し上げます。</p>

佐藤課長	<p>戸井地域にあっては、コンブ生産については、好転の兆しが見えるものの、マグロ漁が不漁であることから、地域経済に与える影響を危惧しております。</p> <p>また、先般の報道で、ご承知のことと存じますが、三笠フーズによる事故米の不正流通事件に関わって、学校給食での事故米を原料とした澱粉を含む、可能性のある加工食品の使用について、調査した結果、戸井学校給食共同調理場においても過去に2度使用した経緯があり、「含有する可能性がある」と言う状況ではありましたが、直ちに使用を中止するとともに保護者に対し、教育委員会から周知を図ったところであります。</p> <p>現在のところ健康被害などの報告は受けておらず、教育委員会としては、今後とも細心の注意を払いながら、安全な食材の確保に努めることとしておりますので、ご報告申し上げます。</p> <p>なお、本日の地域審議会は、来年度の予算に関する事業計画案などについて、ご審議いただくこととなりますので、貴重なご意見・ご提言を賜りますよう、お願いを申し上げ、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。</p> <p>伊藤支所長ありがとうございました。</p> <p>それでは、これより会議に入りますが、進行につきましては、地域審議会の設置に関する規程第8条第2項の定めにより、会長が議長を務めることになってございますので、以後、尾関会長が議長で進めて参りますので、よろしくお願いいたします。</p>
尾関会長	<p>それでは、会議を始めます。</p> <p>本日は、古田委員、菊地委員、佐藤委員と吉田委員が所用のため、欠席をしておりますので、出席委員は11名であります。</p> <p>地域審議会の設置に関する規程第8条第3項の、過半数以上の出席要件を満たしておりますので、直ちに会議を始めます。</p>
尾関会長	<p>本日は、お配りの会議次第に沿って進めて参りたいと考えておりますので、よろしくお願ひ致します。</p> <p>早速、議事に入りますが、まず初めに、議題の1番目、前回の意見等の集約結果と取組状況について、説明を求めます。</p>
工藤主査	<p>[別紙1により説明する。]</p>

<p>尾関会長 成田委員</p>	<p>説明が終わりましたが、そういうようなことになっております。 今はカラスより、カモメがうるさくなってきてますよね。 ゴミの衛生状態が良くなったので、カモメが陸に上がってきてますよね。</p>
<p>尾関会長</p>	<p>こういうことなので、ご了解願いたいと思います。 次に議題の2点目、「平成21年度地域別事業計画案について」説明を求めます。</p>
<p>工藤主査 尾関会長</p>	<p>[別紙2により説明する。] 説明が終わりました、これより皆様方のご意見を伺いたいと存じます。</p>
<p>木村委員 山下課長</p>	<p>質問があれば、どうぞよろしくお願いします。 この資料は組合から、出てきた資料でしょうか。 組合からの要望も、すでに聞きまして、あとはまだ決定となっていませんが、土現とか渡島支庁で検討してもらっています。</p>
<p>成田委員</p>	<p>古川の出張所がなくなって、戸井地区の方に立派な建物を新築となり、良かったとは思ったが、できるのが小安地区で消防車庫ができて、いずれ函館市と合併しなければ、釜谷地区にも出来たのではないかと思う。 市と合併してしまったものだから、もう無理なので、釜谷地区の走行車や積載車を入れることは不可能だと思う。 消火については、函館市は団員は消火に携わず、旧戸井町との形態とは全くちがう。 旧戸井町は火災となれば、団員が戸井全体の財産を燃やさないとか、仲間の財産を燃やさないと仕事を休んでも、消火に当たったが今では、消防法などにより消火に当たれないようになっている。 それから、将来的には6つある地区の消防団が3つとか、2つになるのではないかと話が出ており、釜谷にはできないと思う。 だったら、できれば小安地区なんだけど、将来を考えて釜谷地区の積載車庫を併設して作ってほしい。</p>
<p>尾関会長 佐藤課長</p>	<p>併設する施設をこれからの交渉しだいですよ。 私の方から、概要を説明します。</p>

	<p>新たにできる戸井出張所は、現在の古川出張所と戸井出張所を統合しまして、現在、戸井出張所は救急隊のみの配置3名になりますが、統合によって隊員が20名体制となり、水槽付の消防ポンプ車が2台と高規格救急車1台、その他の車が1台で計4台が配置になる状況です。</p> <p>今までの戸井出張所は12名の体制と古川出張所は20名の体制で32名体制だったのが、統合により20名となります。</p>
山路委員	<p>駐車場の方に建つようですが、どちらに駐車場を作るのか、それから旧ゲートボール場があのままでは、使えない。</p>
佐藤課長	<p>山路委員から言われたように現在の運動広場の駐車場に建つので、駐車場がなくなるため、現在の水飲場付近を駐車場に計画しています。</p> <p>それから、人工芝を敷いているゲートボール場をどのようにするかは判っていません。</p>
八木所長	<p>今現在では、教育事業計画で要求はしてますが、何をどうするかは決まっています。</p>
尾関会長	<p>瀬田来7号線の場所などについて、説明願います。</p>
岩船課長	<p>瀬田来7号線の改良工事についての、お尋ねですが、戸井町時代の平成11年度に計画しましたが、地元の地権者のご理解を得られないまま、廃案になっておりましたが、このたび、戸井地域からの重要な提案事項として事業の展開をお願いしてまして、ルートにつきましては、国道278号線の市道（旧国道）入口から函館方面に向かって崖地を上り、現在の瀬田来の陸橋に繋がる事業になっております。</p> <p>延長は260mで橋梁部分は約30m、総幅員は5.5mを予定しております。</p> <p>平成19年に用地の測量等を実施しておりまして、この20年に地権者との用地交渉をし、内諾をいただいております、契約を交わしております。</p> <p>移転補償の方も契約を交わしております。</p> <p>事業につきましては、平成24年度の完成を目指しております。</p>

成田委員	<p>本庁の方に予算を集中的に付けてもらいまして、なるべく早い完成を目指して、鋭意努力しているところでございます。</p> <p>2ページの駅伝大会ですが、協力範囲はどうなっているのか、なぜ、今こんなことを聞くかと言うと、町会によっては、どのような選び方でボランティアを決めているのか。</p> <p>支所の職員は協力しなくてもいいのでしょ。</p> <p>浜の方では日程も決められて、風よくて魚取れてる中で、漁業者が漁にも出ないで、協力しているのに公務員が協力してないとか、苦情が出ているものだから、どうなっているものなのかと思う。</p> <p>自分も1回も手伝ってないし、声もかかってないのだけど、当時どういう経緯で、こういう大会を開いて、どういう日程でこの秋にやっているのか、分からないのですが、結構漁業者から、来年からそんな駅伝を止めてしまえと言う声が出てるものだから、なぜ我々が協力しなけりゃならないんだと、疑問を持っている方がいる。</p>
尾関会長	<p>たまたま、協力をお願いする対象の方が漁業者であることが1つの問題ですね。</p>
成田委員	<p>ある地域は、ほとんどが漁業者の所もあり、今日もコンブ検査で駅伝のことを言っており、来年からは手伝わないと話していたので、聞いてみると、旗振りとかに協力してるみたいで、どうゆう選択で選ばれたのか、町内会に任せての何人なのか、分からないものだから。</p>
伊藤支所長	<p>今年で11回目になり、以前は日新中学校を会場に道南ロードレース大会と言う名称で開催してまして、当中学校が全道大会に出場していた経緯もあり、継続して開催しているものであります。</p> <p>大会運営にあたっては、職員はもちろん、200名を超える多くのボランティアに支えて頂いており、各種団体や町内会にも協力をお願いしているところであります。</p>
尾関会長	<p>今の説明を聞くと、町内会の方の連絡の方が問題がありそうですね。</p>
成田委員	<p>この前から、文句がときどき出ているが、町民が協力しなければ、戸井のイベントはすべて無くなってしまうんだ。</p>

トライアスロンをやっても、半端でなくなる、産業まつりをやっても、なくなる。

一時的に盛り上がっても、すぐ冷めやすい、全体に浸透してない、だから、そういう人はほとんどが、誰かがやるだろうという考え方なんだ。

町会の方で町民におろしてくるのか、役場の方からおろされているのか、全然わからない。

だから、逆に言うと町会に下ろせば、特定の人に声かけているのかな、だから協力体制が少ないのかなあ。

戸井という所は、熱くて冷めやすくてさ、せっかく盛り上がってきたと思えば、なくされてしまう事業ばかり、やってるでしょう。

11回目と聞いたけど、普通だったら定着して、どんどん大きくなっていくのに、苦情が殺到して、どういうやり方しているのかなと思う。

ある組合員は私に地域の何かやっているのであれば、今度言ってきてくれと頼まれました。

たまたま21年度の事業に載っていたので、町民の一部の意見として言っておかなければならないと思った。

それから今、支所長から言われた職員が一人も参加してないとは、決して言ってませんし、公務員が全員ボランティアとして協力しているのかなと聞いたのですが、たまたま協力してない公務員さんもいたので、浜の人は役場の職員も協力しないのに、我々がやらなければならないんだと思っている。

関連して、私の意見なんですけど、いま道南駅伝となった時、前のロードレースの時はたくさん学校の方からも、生徒さんも出てましたが、道南駅伝となりましたら、他の地域がたくさん出てまして、戸井地区の方々が出るのが少ないので、それによって関心がないのも、多いのではないかと思う。

運動会みたいにたくさん子供達が出るのは、みんな応援しますよ。

だから、他から来てるのが多いから、応援しないと思う。

私たちは以前、委員会の女性団体があった時に昼食の準備をした

館山委員

尾関会長	<p>のですが、今はボランティアの団体がいっぱいありまして、500食から600食を作っているようです。</p> <p>お母さん方はみんなやってくれてるんですけども、だからもっとたくさん、学校の子供でも大人でも参加することによって、関心をもってくれるのではないのでしょうか。</p> <p>色々こういうことは、良しとする人とどうかなあと思える人と色々ありますので、大変でございますが、個人的には継続は力なり、地域以外の人も出て盛り上がってくれれば、継続の力になってくるのではないかと思います。</p>
木村委員	<p>結果を知らないということは、結果を発表してないってことではないですか。</p>
尾関会長	<p>新聞には出ています。</p>
木村委員	<p>成田委員が言われた苦情とは、協力して下さいと言われたが、都合が悪くて苦情言ったのだろうか。</p>
成田委員	<p>ようするに、何処の町会とは言わないが、たまたま町会ごとには会長とのつながりで、漁業者ばかり頼んだ地域なんでしょ。</p> <p>町会ごとに地域の管轄があり、そこを現役の漁師さんに頼んだんでしょ。</p> <p>他の町会も同じだと思って、出たんだけど、違うので苦情が出たんです。</p>
尾関会長	<p>それから、もう1つは現役の漁師さんは、風がよければ沖に出るのを休まなければならないのを分かって、頼まなければならないのだから、影響ない人を頼むのを考えるべきでないかと思います。</p>
成田委員	<p>その町会も、若い人を出しておけば、今のボランティアで出た人たちが年をとっても、次にこういうものがあると言うことを植え付けたかったのではないかな。</p>
尾関会長	<p>支所の方も、教育事務所長の方も、このことについては今後検討して行うようですので、何処かで質問を受けましたら、きちんと説明してやって下さい。</p>
植野委員	<p>戸井西小学校も頑張って3チーム出して、日新小学校も2チーム出ましたし、戸井高、各中学校も1チームずつ出ました。</p>

<p>宇美委員</p>	<p>それからPTAの人もたくさん出てましたよ。</p> <p>今、地域がまとまってとありましたが、私も実行委員会の一人なのですが、その中で市の予算もきますが、それだけでは何もできません。</p> <p>戸井地域を含め、旧市内の企業の応援を得て、寄付行為を得て、はじめて成功しています。</p> <p>ですから、その辺のところも、これから先も考えて、前年実績の予算を要求して実行しなければならないように思われる。</p>
<p>尾関会長 成田委員</p>	<p>来年度は話題性を盛り上げてやってください。</p> <p>これを戸井のメインのイベントなれば、組合の漁も止めることも出来るし、すると組合員も何も言わなくなる。</p>
<p>尾関会長</p>	<p>片方が出て、片方が出ないので、苦情が出てくるのであって、組合だって、きちんと依頼すれば沖止めも可能である。</p> <p>では、この件については、この辺で終了します。</p> <p>他に何かございませんか。</p>
<p>山路委員</p>	<p>現在、合併して以来、民生委員さんに頑張ってもらっているのですが、合併以前は安否確認とかを社協で実施してましたが、合併後は社協を離れて、現在は在宅福祉委員会という形で安否確認を行ってもらっています。</p> <p>旧函館市区域では社協が全部、市からの委託事業として、在宅福祉委員会を町会単位で行っている。</p> <p>先日の地域福祉の会議では、戸井・恵山地区ですが、恵山支所は来年に向けて、旧市と同じように町会単位で在宅福祉委員会を立ち上げたいという動きがあるが、戸井地区は来年度については現在のままで、市から支所経由で在宅福祉委員会の方へ安否確認を依頼するのか、恵山地区のように町会単位で在宅福祉委員に依頼するのか、伺いたい。</p>
<p>五十嵐課長</p>	<p>ただいま、ご質問がありました、安否確認の件でございますが、合併の時には旧市の方は町会単位で在宅福祉委員会を立ち上げておりまして、各町会単位が基本でございます。</p> <p>戸井地域につきましては、現在1本で在宅福祉委員会を立ち上げ</p>

	<p>てございます。</p> <p>来年の予算なものですから，これから作業に入りますが，今現在の考えでは旧市に合わせた形の，町会ごとではなくて，戸井地域1本で在宅福祉委員会がありますので，そのまま社協の委託事業と考えています。</p> <p>他の委員の方，今の質問の内容が分かりましたか。</p> <p>流れが違うと言うことは分かりませんが，他は分かりません。</p> <p>答えを出す前に質問の内容を説明願います。</p> <p>安否確認につきましては，一人暮らしの高齢者および高齢者世帯に対して電話や訪問によって安否を確認しています。</p> <p>制度につきましては，旧市の場合も戸井地域の場合も，基本的には同じになっています。</p> <p>違う点といえば支給する対象が，旧市では2世帯での単価で，戸井地域につきましては，協力員さん1人について同じ単価をお支払いしています。</p> <p>協力員さんにつきましても，基本的に2世帯を持つことになっておりますので，旧市に合わせるができます。</p> <p>また，在宅福祉委員会が旧市は町会単位で，戸井地域は全体で1つですが，同じ制度とみなされることになりそうです。</p> <p>今，山路委員さんからも，お話がありましたとおり，今後，市の制度に合わせ，市から社協へ委託し，社協から在宅福祉委員会へ安否確認を依頼する方向でと考えております。</p>
尾関会長	<p>瀬田来町は町会に民生委員がおりまして，その方々と私の3人の内，交代で2人が安否確認を行っています。</p>
木村委員	<p>私も，裏のおばあさんがいつも元気であるか，見てて頂戴ねと言われていました。</p>
尾関会長	<p>安否確認は社協の方で持っていて，町会ごとにやってほしいと言っていたのですが，町会からの協力員さんがあまり出てこないのので，どうしてもなくて民生委員さんが協力しましょうかということで，民生委員さんが協力員になっています。</p> <p>安否確認は民生委員でなくて，協力員として安否確認に行ってい</p>
植野委員	

	<p>るのです。</p> <p>それで今，民生委員の定例会と社協の定例会を同じ日に開催しているのですが，民生委員さんの定例会の前に社協さんの協力員への連絡会議をやっています。</p> <p>安否確認は1人2世帯で週1回なので，月に4回行かなければなりません。</p> <p>地区によっては，安否確認が必要な人が多い地区もあり，協力員も少ないので，1人で3世帯担当する人もおります。</p>
<p>尾関会長 植野委員</p>	<p>そうすると，受け皿は社協なんですよ。</p> <p>そうです。</p>
<p>尾関会長 植野委員</p>	<p>協力員さんがいないので，民生委員さんも協力している。</p> <p>そういう事になっているということなんですね。</p> <p>それで社協の方が，会計なども全部行っています。</p>
<p>尾関会長 成田委員</p>	<p>他に何かございませんか。</p> <p>学校教育の充実の中で，お伺いしたいことがあるのですが，前段の支所長の挨拶の中にあつた事故米の関係ですが，戸井はいつのことですか。</p>
<p>伊藤支所長</p>	<p>先ほど挨拶の中で申し上げました，事故米の可能性のある原料を使ったのは，平成18年と19年の2回です。</p>
<p>成田委員</p>	<p>それは，たまたま，その業者を経由して，購入したということなのか。</p>
<p>伊藤支所長</p>	<p>三笠フーズという会社で，直接でなくて，原料に使っているであろうと思われる部分であります。</p>
<p>成田委員</p>	<p>戸井も被害者の1人ですよ，戸井の給食というのは，以前から材料は道南の食材を使用してたのですか。</p>
<p>伊藤支所長</p>	<p>私も詳しくは存じ上げておりませんが，合併前は学校給食会などで調達してましたが，道南のものだけを使ってではなく，主には道内の食材を使って，そういうことではありますが，そのものによっては，違う地域のものを使っている物もあります。</p>
<p>成田委員</p>	<p>なぜ，そういうことを聞くかといえは，函館は今4町村と合併し</p>

	<p>て、ほとんど水産の町と合併したんですよ。</p> <p>函館市は小中学校，合わせて60何校かな。</p> <p>給食をみずからやっているのは，どれくらいか分からないのだけど，今，食の安全・安心の時代になっているものだから，北海道の道南はすべての物がとれると思うので徹底して，使ってほしいけど，給食費のこと考えれば，コストが高くなるのを抑えるために，安いものを仕入れているのだと思うけど，しかし，これからは水産業の食材をPRするんであれば，徹底して学校給食の中身も道南のより良い食材を使ってほしい。</p> <p>もう1つは学校教育の責任について，どこまでなのか教えてほしい。</p> <p>学校の授業中であれば，学校の責任だと思うのですが，部活やクラブは違うと言うんだけど，ところで，この前も何処かの学校で校舎の屋根から落ちたのは，学校内だから学校の責任であるとか，給食食べていて，喉に詰まらせて死んだのも，学校の責任になったが，給食の食べ方まで学校で教育しなければならないのか。</p> <p>今，私が心配しているのは，子供達には物騒な時代になってきて，部活などをやって，遅くて暗くなってから帰ってくるのだけど，たまたま，この前，釜谷バイパスに家のある子なのか分からないけど，暗いバイパスを1人で歩いていたのですが，そこで事件があったら，それは，学校の責任なのか，親の責任なのか，教えてほしい。</p>
八木所長	<p>今，回答できません。</p>
尾関会長	<p>それでは，学校の責任は何処までか，部活後の帰りは学校の責任になるのか，普通に帰った場合はどうなのか，次回の会議までに，回答します。</p>
成田委員	<p>なぜ，こんなことを質問するかというと，今の時代は事件が起きてしまってから，徹底して調べるが，起きる前に予防するのが，我々市民の立場でないかと思います。</p>
尾関会長	<p>それでは，成田さん，この件については次回に回答します。</p> <p>次に資料3の説明を求めます。</p>
林課長	<p>[別紙3により説明する。]</p>

尾関会長	<p>このような組合があるのは、以前聞いたことがあるが、難視聴地域の人に補助するのは、函館だけですか。</p>
林課長	<p>今のところ、函館市のみと聞いております。</p>
尾関会長	<p>市民課長、函館市だけやっていいんですか、ほかの地域はないですか。</p>
本庁 山本市民課長	<p>これは、国補助を受けてやるのですが、この場合は国補助の中の市の補助、市の単独補助ということで、補助基準額の8割です。</p>
	<p>先日も国の総合通信局の方に確認したのですが、北海道では現在のところ、函館市だけである。</p> <p>他の都市は受信組合に市が補助しないところもありますし、検討中のところもあり、決定したのは函館市のみです。</p>
成田委員	<p>国民はたまたま、電波の届かない、その地域に住んだだけなんだよね。</p> <p>デジタル放送を決定したのは、国でしょ。</p> <p>電気屋さんは、テレビを売らなかったら、商売にならないし、映らない所に売るわけでないのだから、電気屋さんも協力費を出してるの。</p>
林課長	<p>それは、私の方では分かりません。</p> <p>只今、成田委員さんが言うように国の施策でやったのは、間違いありません。</p>
成田委員	<p>だったらさ、国民がたまたま、そこに住んでて、税金を納めているのだから、平等でなければだめなんだよね。</p> <p>政治家のことを、隅々まで国民に知らせるとしたら、テレビがなくてはならないのだから、どういう所に住んでても、アンテナを通してやるのが、国の政策なんだよね。</p> <p>それを、たまたま、そこに住んでいる人達が組合を作って、金を集めてアンテナ立てたりして、見なさい、聞きなさいと言うのは、おかしいと思う。</p> <p>そういうことを市議会議員でも、道議会議員でも、国会議員にでも、おかしいと言える人がいないのかな。</p>

尾関会長	私もその考えに賛成なんですが，都会の中心部にも，こういう問題が現実にあるそうです。
林課長	成田委員の言っているとおりでございます，したがいまして，市といたしましても，なるべくそのような地域の皆さんの負担を軽減するという意味で，市費を投入して補助しておりますので，ご理解をお願いいたします。
木村委員	戸井地域では，難視聴地域がどれくらい，あるのか。
林課長	難視聴地域は，瀬田来から原木までで，汐首岬から東部地区が該当であり，4つの組合があります。
木村委員	ではこの4つの組合は補助を受けて，整備しないとテレビは見られないということなんですね。
成田委員	それに対して，いち早く函館市が取り組んだことは，ありがたいことと思う。
尾関会長	それから，デジタルにしたのは，理由がありましたよね。
本庁	国の話では，電波の回線がいっぱいであることから，携帯電話などのワンセグなどに空きの電波を利用したいとのこと。
山本市民課長	これは，日本だけでなく，全世界的にもデジタル化し進んでおり，その中で日本は遅れております。
尾関会長	いずれにしても，空けたアナログ回線の具体的利用方法は，把握しておりませんが，電波の回線がもういっぱいなので，デジタル化にして空いた電波を有効に使っていきたいという考えであります。
尾関会長	それでは，この件については，こういうことなのでご理解いただきたいと思います。
本庁	それでは，この後フリートークで意見交換をしたいと思います。
山本市民課長	テレビは，今の時代，1家に1台でないですよ，それに対して受信機ですよ，まったく1台目は見られますが，2台目からはチューナーを自分で買って付けなければならないんです。
尾関会長	国でチューナーを少し安く出来ないかという話が出たことがありますよね，どうなりましたかね。
本庁	中々，電気屋さんの話が進まないようです。
山本市民課長	5千円と言われているチューナーにつきましては，確かに写るん

成田委員	<p>ですが、地デジでいう綺麗な画像は見られません。</p> <p>安くすれば、テレビの企業も潤うし、力のある企業が最後は強い のさ。</p> <p>我々みたいな国民は、税金を納めてても何十万もの負担が掛かる 国の政策である。</p> <p>それから、漁師に油が高くなったから、何十億も補助しますとな ってるが、あれは1つも対象にならないでしょう。</p> <p>国はきちんと考えているよね。</p>
尾関会長	<p>それでは、この辺で終わっていきたいと思いますが、よろしいで しょうか。</p> <p>(異議無し)</p>
尾関会長	<p>本日の第2回戸井地域審議会をこれで終了いたします。</p> <p>どうもお疲れ様でした。</p>